

〔第11回〕

NCGG-Ri 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

栄養過剰摂取型糖尿病モデルマウスの 前頭葉依存的な 認知機能障害誘導メカニズムの解明

統合加齢神経科学研究部 神経内分泌学研究室

多田 敬典 室長

2016年7月12日(火) 16時00分
第1研究棟2階大会議室

近年、糖尿病は認知機能障害誘導の重要な危険因子とされており、その基礎研究としてこれまでに栄養過剰摂取に起因した糖尿病モデルマウスが、海馬依存的な記憶障害を来すことが分かっている。それに対して、認知機能に対して海馬と協調的な活動性を示す前頭葉への機能は明らかではない。本研究では糖尿病モデルマウスを用いて、脳内糖代謝シグナルの異常による、前頭葉依存的な認知機能障害誘導メカニズムの解明を試みる。糖尿病など生活習慣に基づいた体系的な認知機能障害誘導メカニズムを明らかにすることは、認知機能障害への新しい治療法開発につながることを期待できる。

本研究発表会では、これまで行ってきた社会的認知行動に関する前頭葉の機能解析を含め、今後の研究展開について紹介したい。

座長：赤木 一考